

まちのアルバム

新年の願いを込めて

野洲市商工会女性部の皆さんは、地域振興と組織の活性化のため、力を合わせて日々活動されています。

この日は、部員同士の交流により更に団結力を深めるため、お正月寄せ植え会が行われました。

会員の宇田花店さんから植物の特性や育て方を教わりながら、縁起が良いとされる葉ボタンや南天などを手に取り、華やかな寄せ植えが完成。

新年の願いが込められた寄せ植えの成長が楽しみです
ね♪

▼12月16日 中主防災コミセン



▼12月15日 野洲中学校



▲(左から) なかにしあやの 生徒代表の中西彩乃さん、ふかだ か お 深田華央さん、やまもとくた 山本空太さん

私たちが考えるまちづくり

野洲中学校3年生が考える「持続可能な野洲市」について、市長へ意見発表が行われました。

地方自治への参画を目的とした社会科授業の一環として「持続可能な野洲市」をテーマに、野洲市のことを学び、財政などの視点も大切にしながら「具体的に何をするのか」を考えた生徒たち。交通・防犯、産業活性化、情報発信などさまざまな観点から考え、そのなかで感じた疑問が投げかけられる場面もありました。

生徒たちの熱意に、これからの野洲市を担う新たな力が感じられました。

ことですが、先人たちが伝説を語り継いできたことで、その土地独自の歴史・文化が育まれたことも注目すべきことです。本展はそのような視点にたち、郷土の歴史と文化を考える機会にしたいと思います。

※「祇王」については「祇王」と表す場合もありますが、本稿では「祇王」に統一しています。ただし、「妓王寺」などの固有名詞や歴史資料における記載については、その通りに表記しています。

(博物館学芸員 齊藤慶一)

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

209

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

祇王・祇王井川伝説と野洲

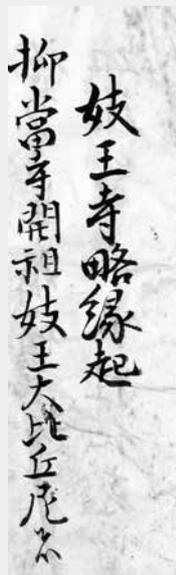
—伝承と地域の歴史①—

テーマ展「近江国野洲の祇王・頼朝・宗盛伝説 —伝承と地域史—」では、野洲におけるの祇王・源頼朝・平宗盛伝説と、それを語り継ぐ地域の歴史・文化を紹介します。

祇王は平安時代の権力者であった平清盛に愛された女性として『平家物語』に登場します。野洲ではその出身地が江辺荘(永原・中北・北付近)とされ、故郷の人びとが水不足で苦しんでいたのを思い、清盛に願い出て、野洲川を水源とする用水「祇王井」(現在の「祇王井川」)を承安3(1173)年に開いたといわれています。

祇王・祇王井にまつわる話は妓王寺(中北)に伝わる「妓王寺略縁起」(安永5(1776)年8月15日付)などに記され、現在も野洲で語り継がれています。

歴史学において伝説の真偽を明らかにすることは重要な



【左写真】妓王寺略縁起(一部)

【釈文】※ふりがなと意識は筆者による「抑当寺開祖妓王大比丘尼者」(意識 そもそも妓王寺を開いた人である妓王大比丘尼は)

※「比丘尼」は尼僧のこと。

■テーマ展「近江国野洲の祇王・頼朝・宗盛伝説 —伝承と地域史—」

2月5日(土)～3月13日(日)

午前9時～午後5時

※期間中の休館日：月曜日、2月24日(木)

※市民は入館無料

(運転免許証やげんきカードをご提示ください。)

※市ホームページ等で事前に開館状況をご確認の上、ご来館ください。